

ワークショップ 2F造形室

縄文土器づくり
体験
「いろば28」



縄文土器をモデルに、粘土で
面白い小物をつくってみよう!

11月5日(土) ①11:00~12:00 ②14:00~15:00

11月6日(日) 11:00~12:00

教材費(送料込み)1500円 ☆親子ペア割引☆2500円

【ワークショップ】お申し込み専用フォームはこちら
事前申し込み・9/15より受付・各回先着20名様まで
<http://forms.gle/zbdFvNEpQUzqxMjLA>



【講師】

陶芸を主とした「ものづくり」の就労継続支援B型事業所

障がい者就労支援事業所 いろば28

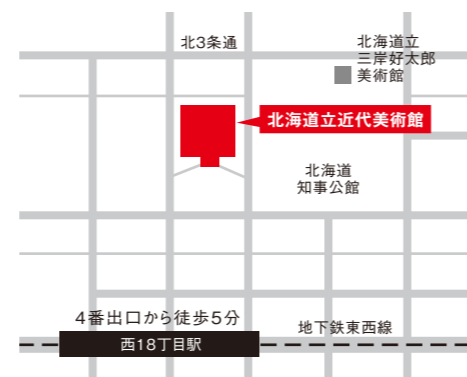
2019年7月北海道大学総合博物館とのコラボ企画で、北大式土器をモチーフにした土器付きのタピオカミルクティー「タピ土器」を販売。連日完売し約3000個を売り上げる。2021年7月北海道唯一の国宝・中空土偶「茅空」を所蔵する函館市縄文文化交流センターのミュージアムグッズとして茅空の顔を施した「土偶箱」が販売開始となる。縄文をモチーフにした陶芸作品を数多く制作。

ご来場の皆様へ

※写真・動画等の撮影はご遠慮ください。
※車椅子をご利用のお客様は、前日までにご連絡ください。



アクセス



私たちは北海道文化団体協議会の活動を支援しています

岩田地崎建設(株)、伊藤組土建(株)、岩倉建設(株)、武ダホールディングス(株)、(株)竹原鉄工所、(株)田中組、(株)中山組、北海道中央バス(株)、丸彦渡辺建設(株)、(株)泰進建設、勇建設(株)、新太平洋建設(株)、道路工業(株)、北土建設(株)、道路建設(株)、アトリエテッラ(株)、(株)石山組、(株)KITABA、(株)Global Design、三幸ケミカル(株)、嶋産業(株)、東光電機工業(株)、(株)ドーコン、永浜クロス(株)、はりきゅう・きのえ、(株)ピーアールセンター、(株)北英建設、(株)ほくやく・竹山ホールディングス、(株)マツオ、村松都市開発(株)、(株)横浜市フロマージュ舎、横関建設工業(株)、渡邊清掃(株)

第64回 北海道文化集会 北海道・中国黒龍江省国際交流事業

日中国交正常化50周年記念

入場無料

展示する音楽と奏でる美術

～アートを心の力に。知ってつながるアートの輪～

日程 | 令和4年11月3日(木・文化の日)～6日(日)

会場 | 北海道立近代美術館 講堂・映像室・造形室

札幌市中央区北1条西17丁目

芸術週間11月1日(火)～7日(月)は「近美コレクション(展示室A)」無料

主催・お問合せ | 北海道文化団体協議会 〒060-0001 札幌市中央区北1条西13丁目札幌市教育文化会館内

TEL.011-271-5036 FAX.011-271-5046 メール bundankyo@msj.biglobe.nre.jp

ホームページ <http://doubun.wp.xdomain.jp/>

共 催 | 北海道立近代美術館

協 力 | NPO法人北海道国際音楽交流協会(ハイメス)

運営主管 | 札幌文化団体協議会

後 援 | 北海道、札幌市、札幌市教育委員会

助 成 | (一社)北海道日中経済友好協会

(公財)北海道文化財団



北海道文団協
WEBサイト



“音楽を展示する”

11月3日(木/祝)

講堂

13:45~ 文化集会開会式
(13:00開場) 表彰式 北海道文化団体協議会各賞

14:20~15:35 講演
『北海道の〈豊かなカオス〉再発見~地域の文化を記録する~』



こい え まさおのぶ
古家 昌伸 編集者・アートライター

1961年秋田県生まれ。新潟大学理学部卒。山形、東京での会社勤めを経て1989年北海道新聞入社。札幌、室蘭、弟子屈、旭川で勤務。本社文化部には通算18年ほど在籍。2021年退職。現在は京都芸大通信教育部アートライティングコースに在籍。一般社団法人北海道大学出版会理事。北海道芸術学会編集委員。詩誌「饗宴」会員、同人誌「調べ」編集人。北海道文化芸術アーカイブセンター(仮称)画策中。

15:50~16:30 コンサート J.S.バッハ「音楽の捧げもの」より 他

たちばな まさかず
立花 雅和 フルート

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース、及びバリ・エコーノルマル音楽院卒業。現在フリーのフルート奏者として音楽活動を行う。動画や SNS を活用した Web 上での発信も積極的に行い、YouTube チャンネル(1.5万 followers)ではQ&Aやワンポイントアドバイスの生ライブコンサートなどを配信中。また対面レッスンの他、オンラインレッスンでも後進の指導に当たる。2019年度札幌市民芸術祭奨励賞受賞。ハイメス・アーティスト会員。



やまだ けいいち
山田 慶一 チェロ

新潟大学及び国際スズキ・メソッド音楽院を卒業。エマ・フェランド、ジャン・ギアン＝ケラス、マイクロ・シュ・ペレーニの公開レッスンを受講。これまで世界的に活躍するチェロ奏者の林峰男氏やフルート奏者のフェリックス・レングリ氏、フィリピンフィルハーモニック管弦楽団等と共演。A.ビヤラン作曲のソナタとピアノ五重奏曲を日本初演。現在スズキ・メソッド チェロ科指導者、北海道教育大学岩見沢校非常勤講師を務めている。ハイメス・アーティスト会員。



やまもと せいこ
山本 聖子 ヴァイオリン

北海道教育大学札幌校芸術文化課程音楽コース卒業、同大学院修士課程修了。フィンランド国立シベリウス音楽院留学。札幌市民芸術祭奨励賞を新人音楽会とTerra弦楽四重奏団で受賞。ヤマハバイオリン・アンサンブル講師。北海道教育大学岩見沢校音楽科非常勤講師。ハイメス・アーティスト、札幌音楽家協議会、各会員。室内アンサンブル Les Pommets(レ・ポムボム)主宰。2021年度札幌文化奨励賞受賞。



おうみ ひろし
近江 宏 チェンバロ

北海道教育大学札幌分校特設音楽課程卒業。在学中から合唱団のピアニストとして音楽活動を始め、以来合唱、器楽、声楽とのアンサンブル・ピアニストとして多くの演奏会に出演。また近年はチェンバロ独奏、通奏低音奏者としても活動の範囲を広げている。現在、札幌厚別高校芸術コース講師。サッポロ・インターナショナル・アンサンブル、コレギウム・カンティクム指揮者。札幌音楽家協議会、北海道日本歌曲研究会、各会員。2016年度札幌文化奨励賞受賞。



ステージ司会
鈴木 舞

【講演・コンサート】お申し込み専用フォームはこちら
9/15より受付・各回先着50名様まで(入場無料)
空席がある場合は、当日入場も可
<http://forms.gle/72MDJSprdoa4q9NT9>



11月3日(木/祝)~6日(日)

2F映像室

9:30~17:00(入場は16:30まで)



日中国交正常化50周年記念

北海道・中国黒龍江省国際交流事業

北海道立近代美術館、黒龍江省(音楽・美術関連)の動画を終日放映
黒龍江省美術館からの寄贈作品、黒龍江省との文化交流を振り返るパネル展



11月6日(日)

講堂

14:00~15:30 鼎談
(13:30開場) アートトークセッション『北の美の行方』

からさわ まさひろ
唐澤 昌宏 国立工芸館 館長



1964年愛知県名古屋市生まれ。愛知県立芸術大学大学院美術研究科修了。愛知県陶磁資料館学芸員を経て、2003年東京国立近代美術館主任研究員、2010年工芸課長。2020年より現職。専門は近・現代工芸史。企画監修:「未来へつなぐ陶芸一伝統工芸のチカラ展」2022年/著書:『窯別ガイド 日本のやきもの瀬戸』2002年(淡交社)/共著:『やきものを知る12のステップ』2019年(淡交社)など

さとう ともよし
佐藤 友哉 美術評論家、前札幌芸術の森美術館長



1952年釧路市生まれ。北海道教育大学札幌分校卒業。1977年道立近代美術館学芸員として勤務。道立旭川美術館学芸課長、道立近代美術館学芸副館長を経て、2012年札幌芸術の森美術館長。その間、北海道の作家や現代美術などに関連した展覧会を企画。2022年同館退職。AICA国際美術評論家連盟、北海道芸術学会会員/著書:『木田金次郎』『北岡文雄』/共著:『北海道の現代芸術』など

しもざわ としや
下沢 敏也 北海道・札幌文化団体協議会会長、北海道陶芸協会会長



1978年より父で陶芸家の下澤土泡に師事。1990年に独立工房設立。1997年には北海道文化財団派遣研修でParsons School of Design(ニューヨーク)にて学ぶ。全国で個展グループ展を開催。近年は道立近代美術館や札幌芸術の森美術館、ベルリン、ニューヨーク、韓国等の展覧会に参加する。中西出版より「shimozawa toshiya clay works」刊行/2009年札幌文化奨励賞受賞・2011年北海道文化奨励賞受賞/作品収蔵/北海道立近代美術館・札幌芸術の森美術館・黒龍江省美術館 他

15:45~16:30 コンサート



アス ハン
阿斯罕 馬頭琴奏者

1997年中国内モンゴル自治区赤峰市生まれ。7歳から馬頭琴を習う。2014年北京の中央民族大学に入学。同年、習近平国家主席とモンゴル大統領の晩餐会で演奏。2018年中央民族大学卒業、学士号取得。2019年東川町立東川日本語学校に入学。2020年北海道教育大学旭川校大学院に入学、2022年3月修士号取得。中国馬頭琴協会会員、北京ホームー協会会員、日本音楽教育学会会員、日本学校音楽教育実践学会会員。

【アートトークセッション・コンサート】お申し込み専用フォームはこちら
9/15より受付・各回先着50名様まで(入場無料)
空席がある場合は、当日入場も可
<http://forms.gle/13Fv92NP5oNQXMRSA>



“美術を奏でる”